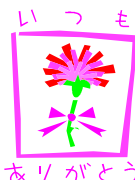


被災地と、みんなを結ぶ

2015 年8月 19 日 No.40

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合）<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

＜2015 第3弾＞

岩手→
長崎・佐賀へ

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

第3弾となるわんぱくプロジェクトは、8月1～3日の日程で岩手（大船渡市）の小学6年生17人が長崎・佐賀を訪問。現地の小学5、6年生18人（長崎11人、佐賀7人）と夏休みの思い出を作りました。

1日目。岩手の子どもたちは長崎に到着後、最初の訪問先である長崎平和公園で原爆資料館の見学等、平和学習を行うとともに、岩手で作った折り鶴を献納して黙とうを捧げました。

夕方に宿泊先の矢太樓へ。夕食で名物のちゃんぽんなどをお腹いっぱい食べ、大浴場で一日の疲れをとり、就寝しました。

岩手、長崎・佐賀の子どもたちが対面する2日目。三菱重工長崎造船所香焼工場に集合し、アイスブレイクとして全員が参加したじゃんけん大会が“ごあいさつ”です。その後、工場内を見学し、とても大きな豪華客船にみんなびっくりしていました。

大浦天主堂前で昼食後、バスに揺られて佐賀県の道の駅鹿島へ到着。ここで干潟体験をし、「ミニ・ガタリンピック」を楽しみました。全身泥だらけになりながら元気に3種目で競い合い、その模様は当日の夕方、NHKのニュースで放送されました。

宿泊する嬉野温泉・初音荘では、夕食の後の交流会で岩手の子どもたちが長崎・佐賀の子どもたちに自分たちで作った“友情ミサンガ”をサプライズでプレゼントしました。

最終日の朝はラジオ体操で体を伸ばしました。旅館を出発してチャイナ・オン・ザ・パークに向かい、有田焼の絵付け体験です。約1時間、みんな才能を発揮してオリジナルマグカップをデザインしました。そして、お別れ会で再会を誓い合い、連日、晴天だった3日間はあっという間に過ぎました。

次回のわんぱくプロジェクトは、10月10日（土）～12日（祝）に「東京→福島」「北海道→宮城」「長崎・佐賀→岩手」が一斉に開催される予定です。



～子どもたちの3日間～



★対面式の様子★

初対面で最初はみんな緊張したけれど、何回もじゃんけんをしたら、楽しくなってきました。

★ミニ・ガタリンピック★

チームで、個人で競い合い、最後は泥だらけに。テレビの取材も受けちゃいました。



★有田焼絵付け体験★

世界で一つだけのマグカップの完成に向けて、約1時間、デザインに集中しました。

3日間の主なスケジュール

- 1日目：岩手の子どもたち、長崎に到着後、平和公園、原爆資料館を見学、ホテルへ。
- 2日目：三菱重工長崎造船所香焼工場で岩手、長崎・佐賀の子どもたちが初対面、工場見学。道の駅鹿島で干潟体験。旅館で夕食・交流会。
- 3日目：チャイナ・オン・ザ・パークで有田焼絵付け体験、お別れ会。

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL：03-5295-0513

FAX：03-5295-0547

Eメール：rentai@sv.rengo-net.or.jp